

令和 8 年 7 月 30 日



守山市 記者提供 資料

担当部署 危機管理課
 担当者 寺畑、音野、山口
 電話 077-582-1119
 FAX 077-583-5066

滋賀県内 2 例目！守山市消防団に「ドローン隊」を設立

～「体力に不安があっても貢献できる」新たな魅力を発信～

8 月 23 日（日）に発足式およびデモンストレーション飛行を実施

守山市消防団では、災害発生時の迅速な情報収集能力の強化と新たな団員の入団促進を目的として、滋賀県内で 2 例目となる無人航空機部隊（ドローン隊）を設立します。

つきましては、下記のとおり発足式を挙行し、あわせてドローンのデモンストレーション飛行を実施いたします。ぜひご取材いただき、広く市民の皆様への周知にご協力をお願い申し上げます。

1 発足式およびデモンストレーション飛行の概要

- 日 時：令和 8 年 8 月 23 日（日）午前 10 時から
- 場 所：湖南広域消防局北消防署 出張所（滋賀県守山市立田町 4277 番地 1）
- 次 第：辞令交付、肩吊腕章授与、隊員紹介
 （発足式後）ドローン飛行訓練（デモンストレーション）を実施
- その他：雨天時は屋内で発足式のみ実施し、ドローン飛行訓練は中止します。

2 ドローン隊の概要および活動内容

- 編 成：市内各分団から選出された 8 名（男性 7 名、女性 1 名）の隊員で編成。
 （平時から継続的に訓練を実施します。）
- 活動内容：火災や地震などの災害発生時に、安全を確保しながら上空から被害状況を早期に把握。また、行方不明者の搜索等にも活用し、収集した情報を迅速かつ的確な消火・救助活動につなげます。

3 ドローン隊設立の背景と目的（なぜドローン隊が必要なのか）

① 地域防災力の要としての実績と今後の PR 活動の重要性

守山市消防団は、士気・技術ともに極めて高く（県操法大会 13 年連続入賞等）、常備消防との合同訓練や女性団員（MSL 分団）による地域密着の啓発活動など、本市の地域防災力の要として重要な役割を担っています。

一方で、令和8年4月現在で10名の欠員が生じており、平均年齢も46歳（令和7年4月時点、全国平均44.5歳）となるなど、これまでの活動を継続していくためには消防団員の確保が不可欠です。こうした状況をふまえ、さらに多くの方々に消防団への関心を持っていただけるよう、これまでにないPR活動の展開が必要です。

② 「新たな魅力発信」による入団促進

ドローン隊の設立は、災害対応力の向上はもちろんのこと、「最先端のドローン操縦術を習得できる」「体力に不安のある方でも、災害時の被害状況把握等の活動に大きく貢献できる」という、消防団の新たな魅力を発信するものです。この取り組みを通じて、消防団の重要性を広く市民に周知するとともに、新たに入団される方の増加につなげていきます。

【参考：守山市消防団の主な活動実績】

本市の消防団は、緊急出動に加え、以下のような多岐にわたる活動を通じ、高い能力を維持しています。

●常備消防との合同訓練：

昨年度より毎月2分団が北消防署と合同訓練を実施し、常備消防との連携を強化
滋賀県消防操法訓練大会13年連続入賞

●実践的な訓練：

「消防団の力向上モデル事業」で整備した救命ボート等を用い、浸水被害を想定した
水害対応訓練を実施

●地域密着の啓発活動：

毎月第1日曜の防火点検、全国火災予防運動等での巡回パトロール、女性団員（MSL 分団）による幼児施設訪問等

※このような活動が認められて令和5年度(初年度)には『消防団地域貢献表彰(大臣表彰)』、令和7年度においても、『消防団地域活動表彰(長官表彰)』を受賞